

わが家のアイドル



白浜にお住いの
さいとう よしひこ
齋藤 芳彦さん・旭砂海さんの

長女 初彩ちゃん (7歳11か月)
次女 文彩ちゃん (5歳9か月)
三女 実彩ちゃん (4歳2か月)
長男 芳彩くん (0歳5か月)

末っ子長男姉3人、お世話も上手な姉たちと賑やかな毎日です★

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。

市役所へどしどしお寄せください！

問合せ先 企画課秘書広報係（河内庁舎2階） ☎ 2212

地域おこし協力隊の活動報告



下田市の皆様、はじめまして。地域おこし協力隊「空き家部門」担当として、今年1月から着任した大野朋子です。下田市に来て4か月、少しずつ地域の方とお話する機会も増え、「顔なじみ」もできてきました。

最初の壁は「家が見つからない！」

下田市に来るまでの最初のハードルは、実は「家探し」でした。毎日のように不動産サイトを見ていましたが、驚くほど賃貸物件情報が少なく、出鼻をくじかれました。さらに、うちには2匹の猫がいます。「ペット可」の賃貸は本当に少なく、やっと見つけても申込済みだったり、内見が5人待ちだったり…。最終的には、内見せずに写真だけで決めました。

下田に来てからわかったのは、同じように家探しに苦労した移住者が多いということ。「家族で住める賃貸がない」「年

齢で断られる」など、さまざまな声を耳にしました。

空き家って、ただの古い家じゃない

全国的に空き家が増えていますが、下田市も例外ではありません。ただ、その一軒一軒には思い出や歴史があり、放っておくにはもったいない家もたくさんあります。空き家バンクは、そんな家を「眠った資源」から「地域の可能性」へ変える仕組みです。市外から移住を考えている方にとっても、貴重な情報源になります。空き家は手をかければ、また誰かの大切な居場所になります。でも、放置されると景観や防災面でのリスクも高まります。子どもたちに活気ある町を残すためにも、空き家の活用は大事だと感じています。

空き家をお持ちの方へ。まずはお話しませんか？

私自身、家探しの苦労も、見つけた喜びも下田で経験しました。その経験を活かして、一軒でも多くの空き家が未来へつながるよう、空き家バンクの運営に取り組んでいきたいと思っています。空き家をお持ちの方、「まずは相談だけしてみたい」「活かし方を知りたい」など、お気軽

軽にご連絡ください。

デジタルの力でも地域に貢献します

また、Webデザインの仕事もしております。HPやバナー、ECサイトの制作、SNSやマーケティングのご相談も大歓迎です。「なんとなくこんなことしたい」がカタチになるよう、一緒に考えます。お気軽にご相談ください。

オンラインでもオフラインでも、地域のみなさまのお力添えができたらと思っています。どうぞよろしく願っています。

問合せ先

産業振興課地域経済促進係
(河内庁舎2階) ☎ 23914



空き家バンク
二次元コード



『下田市LINE公式アカウント』始めました！！

LINEから、暮らしに関する様々な情報を受け取ることができます。お住まいの地域を設定することで、ごみ収集日前日にお知らせ通知が届きます。

友だち追加は、こちらから→

